■□■大阪女学院大学　国際共生研究所　2011年度　春の企画 ■□■

＝＝＝＝＝　難民支援ＮＧＯ　ＲＡＦＩＱを迎えて　＝＝＝＝＝
＝＝＝＝＝　～当事者の語りに耳を傾ける～　＝＝＝＝＝

国連の難民機関UNHCRによれば、世界には1000万人を超える人々が
独裁・軍事政権による迫害や、武力紛争による人権侵害のために、
国外に逃れています。

世界でも豊かな国である日本が、その原因となる暴力の構造に加担している
という事実も知る必要がありますが、さらに、その豊かな日本が受け入れている
難民の数は、ほんのわずかだという事実を知ることも重要です。

われわれと同じ社会の中で、ひっそりと暮らし、不安にさいなまれている
当事者（難民申請中、難民認定後）の思いを聞かせてもらうことで、
われわれに何かを変えることができるでしょうか。ひたすら耳を傾け、
話し合いを通じて、一緒に、その問題に向き合ってみませんか。

■ お話して下さる方々 ■
ＲＡＦＩＱ（難民支援ＮＧＯ）田中恵子さん
コンゴ出身　Ｈ．Ｎ．さん
スリランカ出身　Ｗさん
（ＲＡＦＩＱ ＨＰ： http://www.rafiq.jp/）

■ 日程 ■
2011年6月17日（金）　18：00開場　18：30開演　（20：30終了予定）

■ 会場 ■
大阪女学院大学　本館　第一会議室
＜アクセス＞
http://www.wilmina.ac.jp/ojc/access

■ 主催 ■
大阪女学院大学　国際共生研究所
http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/RIICC

■ 企画・運営 ■
大阪女学院大学　学部生有志

■ 通訳 ■
難民認定申請をしている「当事者」による語りは、英語でお願いしていますが、
逐次通訳ではなく、ところどころ日本語での＜まとめ＞を挟み込むことで
参加者の皆さんの理解を促進します。

■□■□■□